



■地域コミュニティの活動を紹介します

筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

今回は、二日市東コミュニティ運営協議会の主催による「自主防災組織合同防災訓練」について紹介します。

二日市東

自主防災組織合同防災訓練  
を開催しました

1月28日(日)、二日市東コミュニティセンターにて管内13行政区の自主防災組織合同で防災訓練が開催されました。

自主防災組織とは？

自主防災組織は各行政区ごとに組織されています。地域の避難訓練や危険箇所の把握、避難が難しい人への支援などが主な活動です。また、防災だけではなく、夜間のパトロールなど防犯活動も行われています。



13行政区から多くの人に参加しました



「探求する」などの意味が込められた図上訓練「DIG」

自主防災組織の  
充実と連携に向けて

災害はいつどんなときにどんな規模で起きるか予測できません。一つの自主防災組織の取り組みだけでなく、今後はより広い範囲での取り組みが必要となってきました。コミュニティ単位で自主防災組織が連携し、協力することを目的に今回の取り組みが企画されました。「みんなでつくろう防災マップ」今わたしたちにできること」



地図を色分けし、危険箇所を記入していきます

をテーマに、筑紫野市安全安心課を講師に迎え、図上訓練班と炊き出し訓練班の2班に分かれ訓練を行いました。

図上訓練班は「DIG」(災害・想像力・ゲームの略)を行い、それぞれの地域の地図を色分けしていくことで危険箇所や支援が必要な人の情報などを班で共有していきます。改めて地域を確認することで課題が見えてくるにつれ、班での話し合いにもだんだんと熱が入っていました。

炊き出し訓練班は、コミュニティセンターに大人数での避難があったと想定したカレー作りを行いました。災害時でも簡単に調理ができるアルファ米(備蓄米)を使いながら、多くの食



カレーを調理する炊き出し訓練班

材を調理し、作ったカレーは訓練参加者全員に振る舞い、大変好評でした。

今回の訓練を通して、自主防災組織が充実・連携し、地域の防災力を高めることができました。地域のことは地域で守るという意識の下、地域でできることを改めて考えていきたいと思

二日市東コミュニティ運営協議会には

4つの部会があります

交流部会

防犯・防災部会

健康・福祉部会

子ども育成部会